

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2019～2020年度 国際ロータリー マーク・ダニエル・マローニー 会長テーマ

ROTARY CONNECTS THE WORLD ロータリーは世界をつなぐ

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 杉浦文雄
幹事 神谷強
会報委員長 中川耕児

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3060回例会プログラム

[当年度＝6回目；当月＝3週目]

2019年（令和元年）8月19日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点鐘……〈会長〉

3. 開会宣言

4. ロータリーソング斉唱

……それこそロータリー

5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

6. 食事

12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告

8. 幹事報告

9. 出席報告

10. 委員会報告

11. ニコニコボックス報告

12. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(8/26) ……

クラブフォーラム（出席委員会）

通年皆出席者および前年度皆出席者表彰

(9/2) ……

クラブフォーラム（社会奉仕委員会）

講師 地区社会奉仕委員長

塩谷 和久 様

(名古屋中 RC)

地区出向者アワー

出口 達也 会員

(紹介者 内藤 昇 会員)

13:00 13. 本日のプログラム

卓話 「愛知子ども食堂ネットワーク RCC」

講師 藤野 直子 様 (名古屋名東 RC)

(紹介者 佐野 彰彦 会員)

14. 謝辞

15. 点鐘……〈会長〉

16. 閉会宣言

13:30 17. 散会

出席席

会員総数 97名 出席免除 24名

出席義務者+免除者の内例会出席者 78名

欠席 12名 出席率 86.67%

前々回(7/29)の修正出席率 100%

会長報告

1) 8月17日(土)刈谷わんさか祭りに出席してまいりました。

幹事報告

1) 来週8月26日の例会は、モグモグタイムを行なわせて頂きます。尚、お食事はカレーでコーヒーもご用意させていただきます。

会長あいさつ

杉浦 文雄



本日もロータリーの説明について
と言うことで、少々かたい話をさせて
いただきます。

7月、8月と延べ四回に渡り皆様
が所属する委員会別の顔合せ懇親会
が開催されました。私と幹事は全て

参加させていただきました。

ロータリークラブではこれを IDM インフォーマル
ディスカッションミーティングと呼んでおります。

用語説明見ますと(家庭集会)のようですが、これは
ロータリー五大奉仕活動の中のクラブ奉仕活動の重要
な事の一つであるようです、原点としては、アメリカで
クラブ内で委員長になった方や、役員の方が1年間お世
話になる委員会メンバーを家庭に招き、奥様共々家庭料
理とお酒で接待したのが始まりのようです。

いろいろ資料見ますと、日本の古いロータリークラブ
でも恒例になっていたところもあるようですが時代と
共に、美味しいレストランを選びメンバー同士で交流を
図るのが現在の形のようにです。

そして、共に参加した、小川クラブ奉仕委員長大変ご
苦労様でした。

毎回、少し赤い顔してご機嫌で飲んでお見えになりま
したので安心しました、無事にクラブ奉仕活動の実行を
していただきました。

そして、本日藤野直子さんをお招きして愛知子ども食
堂ネットワーク RCC の卓話をさせていただきますが、こ
ちらはロータリー社会奉仕活動の中の1つでロータ
リークラブ会員と地域の団体、グループの方々等が地域
社会共同隊、として一緒になって事業を進めるロータ
リークラブ特有の RCC 事業と、言うものです。

ネットでロータリー RCC と入れますとすぐに内容が
でますのでお調べいただきたいと思います。

是非、しっかり卓話もお聞き頂きたいと思ひます。

卓話

「あいち子ども食堂 ネットワーク RCC」



藤野 直子 様
(名古屋名東 RC)



皆様、「子どもの貧困」と聞いてピンときますか？

国連が定める貧困の定義は「絶対的貧困」と「相対的
貧困」があり、先進国は、「相対的貧困」で考えます。『家
族のお誕生日にケーキを食べる』など、普通のご家庭で
なさることが出来ない状況が、「相対的貧困」です。

平成27年の国民生活基礎調査による平均所得(可処分
所得)は245万円、その半分以下のご家庭で暮らす18歳
未満のお子さんの割合を、「子どもの貧困率」で表します。
驚くべくことに、7人に一人のお子さんが、貧困ライン
以下のご家庭で暮らしているのです。

そのようなお子さん達は、「貧困の負の連鎖」からな
かなか抜け出せません。学校でもいじめの対象となりや
すく、学校でも家庭でも、心を休めることが出来ないの
です。当然、学習も遅れがちで、小学生低学年で躓いて
しまいます。親の収入が少ないことにより、十分な教育
を受けられず、安定した仕事に就けない。生活は落ち着
かず、居場所がないまま、大人になってしまうのです。

負の連鎖から一人でも多くのお子さんをすくい上げて
あげたい……そんな思いから、全国で「子ども食堂」が
開設され、現在、全国で約3700か所、愛知県には100か
所以上ございます。民間ボランティアにより運営され、
食事を提供するだけで無く、“居場所”としての役割を
担っています。更に、「教育格差問題」に立ち向かう動
きが始まり、宿題を手伝ったり、受験勉強の手助けをし
ています。親でも先生でもない大人が温かく見守ってあ

げることが、お子さん達の人生に良い影響があると考えております。

しかし、子ども食堂には多くの課題があります。それらの課題解決のために、2017年にネットワークを結成し、様々な活動を行っております。

小学生が、歩いて、「子ども食堂＝居場所」に行けるためには「1小学校区に1か所」が必要です。全てのお子さん達の明るい未来のために、ロータリークラブが何を出来るか、これからも模索し、活動を続けて参ります。

